

ふれあい福祉相談

場所 ふくしの駅（中央3-13-5）

問い合わせ ふれあい福祉相談センター
☎ 22-8986 ※祝日は休みです。

相談内容	日	時間帯	
◎一般相談 (どんな相談でも)	毎週月～金曜	8:30～17:00	
◎ボランティア相談 (活動希望・援助依頼等)			
税金相談	毎月第1金曜	10:00～15:00	
◇不動産相談	毎月第3水曜		
◎障害児者相談	毎月第3木曜		
保険・年金相談	毎月第4水曜		
◎女性相談	毎月第4金曜		
*法律相談	毎月第2金曜		10:00～16:00

◇7・9・11月は司法書士が応相談。

◎電話による相談も可。

*法律相談は予約制。月初めから受付。
無料での相談は一人1回です。**行政相談**

国の行政への苦情や相談を受け付けます。

問い合わせ 行政相談委員 黒崎 耕二
(忠海中町) ☎ 26-0607**人権相談**

差別、いじめ、嫌がらせ等、人権に関する相談を受け付けます。

日時 7月15日(水) 9時～12時

場所 人権センター

問い合わせ 広島法務局東広島支局
☎ 082-423-7707**高齢者総合相談・介護家族相談**

相談内容	曜日	時間
高齢者総合相談	月～金	8:30～17:00 (土・日曜日は、要望により対応)
介護家族相談会	偶数月の 第3火曜日	13:30～15:00

場所 ふくしの駅（中央3-13-5）

問い合わせ 地域包括支援センター ☎ 22-5494

いのちのホットライン竹原場所 ふれあい館ひろしま（中央2-4-3）
9時～18時

※7/12・8/13～16は休館します。

問い合わせ いのちのホットライン竹原
☎ 22-9102**出張年金相談**

日時 7月8日(水) 10時～15時30分

場所 福祉会館2階会議室

※出張年金相談は予約制です。

※相談日前々日の正午までに要申し込み。

申し込み・問い合わせ 呉年金事務所 ☎ 0823-22-1691

県民相談

行政関係相談、交通事故に関する相談、相続や離婚など家族に関する相談、近隣トラブル相談などを受け付けます。

日時 毎週水曜日 9時15分～12時、13時～16時

場所 広島県東広島庁舎1階
(東広島市西条昭和町13-10)問い合わせ 西部地域県民相談室東広島支所
☎ 082-422-6911**平成26年度の消費生活相談について****【相談件数の状況】**

平成26年度の相談件数は152件で、平成25年度に比べ23件(13%)減りました。

相談が多かったのは、①情報提供サービス(22%)、②金融・融資(12%)、③書籍・教養娯楽品(10%)で、この3つが相談の半数を占めています。

【相談の概要】

このところ多重債務に関する相談は少なくなってきましたが、身に覚えのないサイト利用料の相談件数は依然として多く、引き続き投資勧誘の苦情も見られます。

また、インターネット通販の普及に伴って、通販で申し込み、代金も支払ったが品物が届かない、という苦情が全国的に増えました。取引の特徴と

して気軽に利用できる反面、トラブルになったときの交渉が難しいケースがあります。

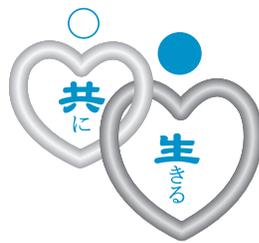
このほかにも、賃貸アパートに関するトラブルやマルチ商法に関する相談、苦情が増えました。

【勧誘電話に気をつけましょう】

トラブルに巻き込まれるきっかけとして多くみられるのが、電話での勧誘です。

電話でのやり取りは長引くと不必要な個人情報や相手に与えてしまい、場合によっては脅されて怖い思いをすることもあります。不審電話は短く切るか、留守番電話や発信者番号表示・着信拒否などの機能つき電話を利用するなどの対応を心がけましょう。

おかしいな、困ったなと思ったら、竹原市消費生活相談室(☎ 22-6965)にご相談ください。



受けて安心 がん検診

がんは、広島県では昭和54年から死因の第一位となり、平成25年には、総死者の約3割を占め、年間約8,200人が、がんで亡くなっています。

厚生労働省によると、生涯のうち、がんにかかる可能性は男性が2人に1人、女性が3人に1人とされています。

しかし、診断と治療の進歩により早期発見・早期治療で治せるがんも増えてきています。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、早期に発見するには、症状がなくとも定期的ながん検診を受けることが重要です。そして、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることができます。

「がん」にかかる人が 多い年代は？

広島県では、死亡者全体に占めるがんによる死亡者の割合は、30歳代から増え始め、55歳

から74歳までの年齢階層では、およそ2人に1人が亡くなっています。また、がんは高齢になるほど発症のリスクが高まるため、60歳以上の年齢階層で死亡者数が多くなっています。

我が国で最も多くの人がかかっているがんは「胃がん」です。治療法の進歩や生活の改善などにより死亡率は低下傾向にあり、早期発見で治療が見込めます。

次に多いのは「大腸がん」で、食生活が肉食中心の欧米型になったことや過度の飲酒が影響していると考えられています。

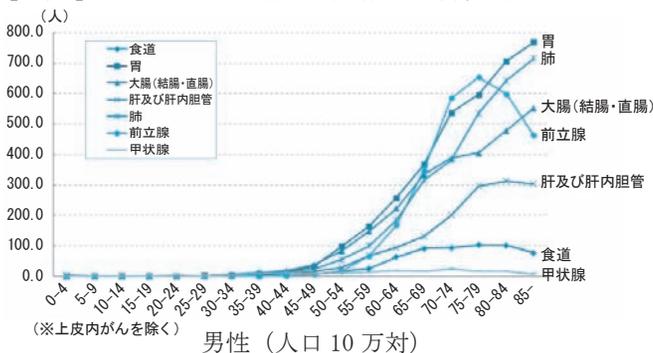
我が国で最も多くの人が死亡しているがんは「肺がん」です。喫煙年数や本数が多いほど肺がんのリスクが高まります。受動喫煙もリスクを高めます。

女性が最も多くかかるがんは「乳がん」で、死亡率も増加しています。罹患率は30歳代から増加し始め、50歳代前後を中心に最も多くなります。早期に見すれば、ほぼ治癒すると言われています。

「子宮頸がん」は、20歳から30歳代の発症が目立っています。20歳を過ぎたら検診を受けましょう。

広島県の年齢階級別罹患率（部位別・性別）

【出典】 広島県のがん登録（平成23年集計）



がん検診受診率

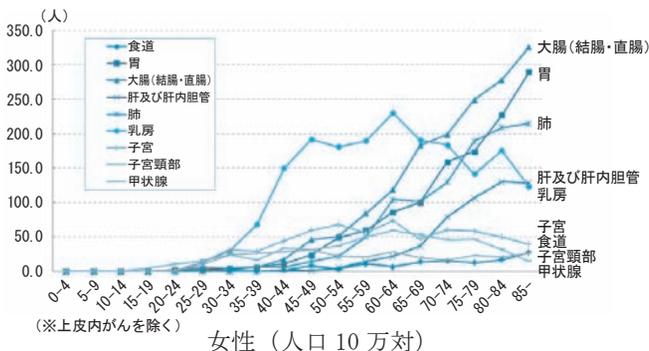
平成25年度の市と県内のがん検診受診率を比較したところ、大腸がん、肺がんは上回っていますが、乳がんについては県平均を下回っています。がんによる死亡率を減らすためには、各々の受診率を引き上げる必要があります。

人は、生涯を通じて健康に暮らす権利が保障されています。がんから身を守るためには、禁煙や良好な生活習慣を送るほか、ご自身のために、大切な人のためにも定期的な検診を受ける必要があります。

がんを予防するために

問い合わせ

保健センター ☎ 22-7157



がん検診受診率

